

団 体 名： 田村律之助顕彰会

代表者名 (現在)： 鈴木廣志

会 員 数： 76名

連絡先 (電話)： 0282-43-0388 (プラッツおおひら内)

メールアドレス： ritsunosuke.kensyokai@gmail.com

団体 HP の URL： <https://ritsunosuke.com/>



### ○この活動を始めた動機 (目的)

栃木市の小中学校で進める「ふるさと学習」を大平南小学校・大平中央小・大平南中の大平南ブロックのPTA・教員・親父の会、学校運営協議会、読み聞かせボランティア等のメンバーを核に関係団体、行政と協働しながら、田村律之助生誕150年を記念し、その功績を顕彰し郷土の偉人や地域の歴史、文化、自然等の地域資源の教材化を進め、郷土の偉人を広く市内外に発信することを目的に団体を設立しました。



### ○実際に令和2年度に行った活動とその成果 (結果)

#### 1. 田村律之助の基礎研究・功績顕彰

- 6月元栃木市生涯学習部長鶴飼信行氏を講師に、「律之助翁像の復元」をテーマに太平山のアじさい坂にある律之助像の建設の経緯や碑文を紐解きました。



#### 2. クラフトビール『田村律之助物語』の醸造・販売に参画しました。

- 5月「律之助物語-麦秋-」の醸造
- 8月 「律之助物語-麦笛-」の試飲
- 10月「律之助物語-麦処-」の醸造



#### 3. 市民講座の開催

- ① 6月「田村律之助翁像-その復元を目指して-」  
講師 鶴飼 信行氏
- ② 7月「律之助像の再建とクラウドファンディングの可能性」  
講師 鷹箸 恵美氏
- ③ 9月「コミュニティ・ビジネスと6次産業の可能性」  
講師 CS総合研究所 細内 信孝氏



#### 4、親子の体験学習・交流活動開催

- ・ 11月麦蒔き体験
- ・ 2月麦踏み体験
- ・ 6月収穫体験

\*今年度は。コロナ感染防止のために子どもたちの参加は見合わせました。



#### 5、小中学校への情報・資料提供等

- ・ 8月 関東ブロック PTA 大会支援（実践発表動画）
- ・ 10月～12月 小学校での授業支援・漫画本の活用促進
- ・ 2月 全国コミュニティ・スクール大会提案支援
- ・ 3月 大平中央小 メモリアルソング「DreamForever」伴奏



- ・ 3月 とちぎ未来大使義達祐未さん（大平南小出身）  
聖火ランナー応援・紹介

#### 6、動画「麦秋物語-明日を拓こう-」・顕彰会 HP の作製

\*これらの顕彰会の活動を一本の動画にまとめて「麦秋物語-明日を拓こう-」を制作し、YouTubeを通して、律之助顕彰会の活動を紹介するとともに、ビール麦の生産が日本有数の「麦処とちぎ」とビール麦の父田村律之助の功績を市内外に発信しました。



## 律之助顕彰会 HP より



## ○良かった点や苦勞した点

- ・クラフトビール「律之助物語—麦秋—」「律之助物語—麦処—」の醸造は、麦蒔きから収穫までを感染症対策を講じながら実施することができました。

また、第三弾「律之助物語—麦笛—」の試飲を行い、ビールのスタイルを決定し、次年度の醸造に向けて、ラベルにも思いを込めプロデュースすることができました。

- ・コロナ禍の影響で、講座や交流会の規模縮小や中止を余儀なくさせられましたが、動画製作や感染症対策を講じながらなんとか活動することができました。



## ○これからの展望

今年度も、新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が制限されたり中止となりました。そんな中でも、今年度は、動画「麦秋物語—明日を拓こう」制作やクラフトビール「律之助物語」第三弾の醸造を目指し活動を継続しています。

これらの活動を通して、全国有数の「麦処とちぎ」のPRとその基を築いたビール麦の父田村律之助の功績を全国に発信し、戦時中に供出された田村律之助像の立像（鈴木賢二作）の再建を引き続き目指しています。



昭和10年当時の律之助像（鈴木賢二作）

## ○その他

律之助像の再建のための基金を募っています。皆様のご支援、ご協力を宜しく願います。詳しくはHPをご覧ください。